

北海道苫小牧地区工業用水道事業の紹介

○事業の主旨

苫小牧地区第一工業用水道，苫小牧地区第二工業用水道，苫小牧東部地区第一工業用水道の給水区域は北海道の道央圏の南側に位置する苫小牧市と隣接する厚真町，平安町で，わが国初の内陸掘込港を擁する港湾・工業地域です。

また，新千歳空港と隣接している環境や，背後の北海道縦貫自動車道路や日高自動車道の整備等により，産業や流通の拠点として一層の発展が見込まれています。

当事業は苫小牧市の工業地帯に工業用水を安定供給し，その産業基盤を整備することにより，地域の振興に資する目的で実施されています。

○事業の経緯

苫小牧地区第一工業用水道は，苫小牧臨海工業地帯に工業用水を供給するため，昭和43年4月に着工，昭和45年4月から一部給水開始，昭和47年3月には全部が完成しました。最大給水能力は100,000m³/日となっています。また，苫小牧地区第二工業用水道は，苫小牧臨海工業地帯における工業用水需要の増加に対処するため，昭和47年4月に着工し，昭和54年3月に完成しました。最大給水能力は100,000m³/日となっています。

また，苫小牧東部地区に工業用水を供給するため，苫小牧第二工業用水道より供給を行っていた苫小牧東部地区第一工業用水道は平成18年度をもって廃止し，同地区への給水は苫小牧第二工業用水道が「苫小牧地区第二工業用水道」に改称し，給水を引き継いでいます。

○受水企業の概要

(平成20年3月31日現在)

業種	給水件数	契約水量 (m ³ /日)
食料品	1	440
木材・木製品	1	1,200
紙・パルプ	1	8,100
化学工業	9	25,280
石油・石炭	1	38,700
窯業	3	1,460
鉄鋼	3	1,050
金属	1	3,000
一般機械	4	2,595
その他	3	4,620
雑用水	2	1,180
電力	3	15,400
計	32	130,025

○工業用水道施設の概要

苫小牧地区第一工業用水道は，樽前山東麓を源とし広大な湿原地帯を流れる勇払川に設けた取水堰から取水し，導水路を経て，揚水ポンプにより浄水施設に送水し，浄水処理後，延長約17キロメートルの配水管により各受水企業に供給しています。苫小牧地区第二及び東部工業用水道は，安平川河口から上流約8キロメートルの地点に設けた取水堰から取水し，浄水施設を経て送水ポンプにより配水塔に送水し，延長約31キロメートルの配水管により各受水企業に供給しています。

○事業の特徴

昭和48年に沈澱池から排出される沈澱物を処理するため発生土処理施設を設置し，平成4年からは，処理済みの発生土を土壤改良材の原料として売却しています。

○北海道企業局のホームページアドレス

<http://www.pref.hokkaido.jp/houkatu/kigyuu/kg-soumu/>

○給水区域図

【この地図は、国土地理院員の浄写を経て、複製発行の5万分の1
縮尺図を複製したものである。】(平成19年度第1号)

